

**製品名: ANT4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06953**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SLC25A31
別名	SLC25A31; AAC4; ANT4; SFEC; ADP/ATP translocase 4; ADP; ATP carrier protein 4; Adenine nucleotide translocator 4; ANT 4; Solute carrier family 25 member 31; Sperm flagellar energy carrier protein
遺伝子 ID	83447.0
SwissProt ID	Q9H0C2
免疫原	抗血清はヒト SLC25A31 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

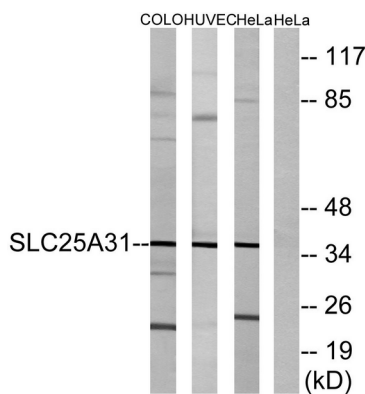
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ミトコンドリアにおいて細胞質 ADP をマトリックス ATP と交換する ADP/ATP 輸送タンパク質ファミリーの一員である。この遺伝子を過剰発現する細胞は、抗アポトーシス性表現型を示すことが示されている。このタンパク質は精子形成においても役割を果たしていると考えられており、鞭毛細胞骨格の一部および解糖系酵素と関連すると考えられている。この遺伝子のマウス相同遺伝子に変異を持つ雄マウスは不妊となり、精母細胞は減数分裂早期停止表現型を示す。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016年1月]、機能: ミトコンドリア内膜を介した ADP と ATP の交換を触媒する。遠位鞭毛におけるエネルギー生成およびエネルギー消費プロセスの媒介として機能し、鞭毛解糖、タンパク質リン酸化、および運動機構間のヌクレオチドシャトルとして機能する可能性がある。類似性: ミトコンドリアキャリアファミリーに属します。類似性: 3 つの Solcar 繰り返しを含みます。細胞内局在: 精子鞭毛では、このタンパク質は繊維鞘 (ミトコンドリア以外の領域) に存在します。組織特異性: 脳、肝臓、精子、精巣で発現します。、

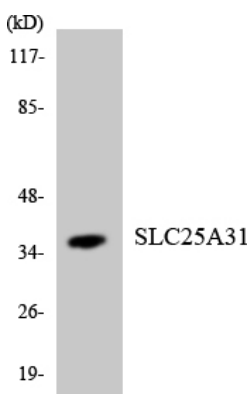
## 研究分野

カルシウム;パーキンソン病;ハンチントン病;

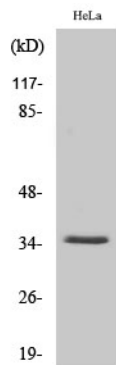
## 画像データ



SLC25A31 抗体を用いた HeLa 細胞、HUVEC 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



SLC25A31 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した ANT4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析